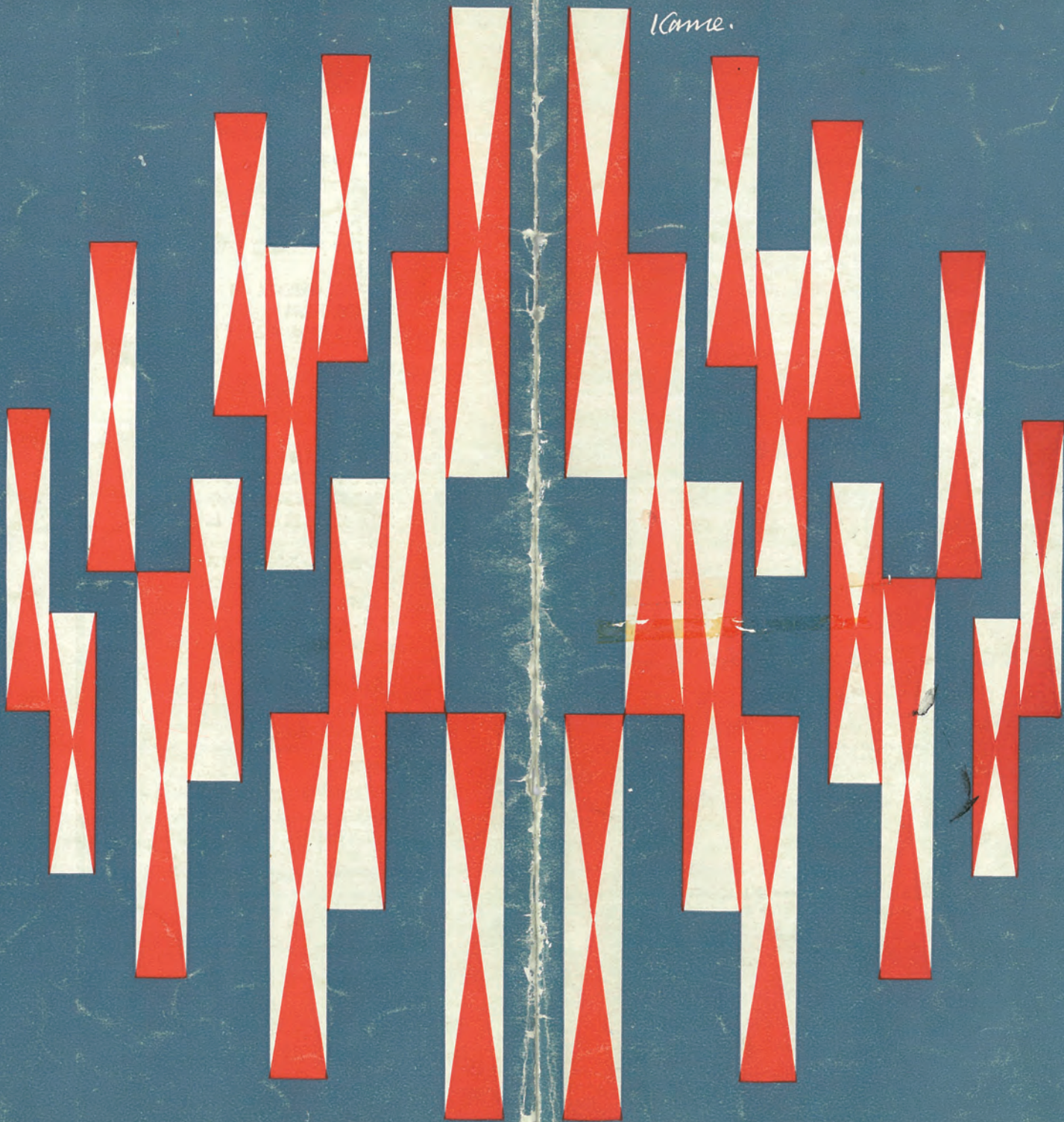


Kame.



桑沢デザイン研究所
東京都港区赤坂青山北町4の70
都電バス・青山4丁目地下鉄・外苑前

桑沢デザイン
研究所案内

Here I have found genuine Bauhaus spirit, the desirable trend I am looking for - the transitional, creative bridge between east and west. Great success to you!

Walter Gropius
June 1954

桑沢デザイン研究所に対するワルター・グロピウス教授のメッセージ

私はここに素晴らしいバウハウス精神を見出したがこれこそは私がかねてから待ち望んでいたものであり東洋と西洋の間にかかわたされた往来自在の創造的な橋である貴方がたに大きな成功を！ 1954年6月15日 ワルター・グロピウス

ワルター・グロピウス Walter Gropius

1883年ベルリンに生る 74才 ル・コルヴジエライトとならぶ建築界の世界的巨匠 バウハウスの創始者であり現代デザイン運動の先駆者である

デザインという人間能力が、一般市民の生活にとっては、美と能率化をもたらし、産業界にとっては、利と合理化をもたらすものであることが、ようやく最近になつて、広く社会に認識されるようになってきましたが、よく考えてみますと、地上の生活に、色と形というものがあるかぎり、デザインの必要は、無限といえるでしょう。

したがって、デザインの基礎感覚と基礎技術を身につけておくことは、これから社会に出て、みずから働こうとする人々には、デザイナー、アート・ディレクター、レイアウト・マン、アート・エディターなど、従来未開拓のいろいろな職場を約束する、アラジンのランプとなってくれるに相違ありません。また家庭にはいって、服飾生活をはじめ、家具や器具の撰択と管理から、室内装飾にいたるまで、いわば家庭のアート・ディレクターとして、新しく合理的な主婦生活をおくろうとする人々にも、多くの幸福をもたらすことでしょう。

この研究所は、こういうデザイン時代の要求にこたえて、デザインの基礎的なトレーニングをあたえる、日本でほとんど唯一の教育機関です。カリキュラムは、バウハウスの造形教育に範を仰ぎ、さらに、わが国で発達した構成教育のシステムをとりいれていますから、きわめて創造的で基礎的な学習方法を重んじ、個性に立脚した才能教育を実施していますが、また、わが国の実情と、社会の要求をも考慮して、応用技術の学習と、実用知識の体験にも、力をそいでいます。

教授陣には、わが国最高のスタッフをむかえ、きわめて自由、かつ、多彩な授業をおこなっていますから、単に、デザイン教育の場というだけにとどまらず、日本のデザイン運動の一センターとして、活力にみちたアトモスフェアにつつまれ、若い才能の目ざめを、鼓舞するところが少くないといえるでしょう。

製図クラス

洋裁経験者で、桑沢式製図を 正確に習得したい希望の人には最適な 短期速成のクラスです 昼間お勤めの方あるいはデザイン科に席のある人には便利な科です

授業内容 ・ 講師

- 原型の原理 根田みさ子氏
友田 小織氏
他 KDSスタッフ
- 補正法
- 婦人服および子供服の製図全般
- 基礎的な部分縫

修業年限 ・ 授業日 ・ 授業料

| 年 限 | 授 業 日 | 授 業 時 間 | 授 業 料 (1ヶ月) | 入 学 金 | 選 考 料 |
|-----|-------|---------|----------------|--------|-------|
| 6ヶ月 | 火 木 土 | 午後6時～9時 | 1,000円 | 1,500円 | 500円 |

- 入学資格
高校卒業程度 経験・男女を問いません

選 科

クラス ・ 講師 ・ 授業日 ・ 授業時間 ・ 授業料

| ク ラ ス | 講 師 | 授 業 日 | 授 業 時 間 | 授 業 料(チケット制) |
|-----------------|------------|-------|----------|--------------|
| ドロウイング ク ラ ス | 佐藤忠良氏・朝倉撰氏 | 毎週水曜 | 午前9時～12時 | 1,000円(10回券) |
| 製帽クラス | 一の瀬あき夫氏 | 毎週水曜 | 午後1時～4時 | 1,500円(10回券) |

- 入学資格
在学生・KD会員および卒業生に限る



「桑沢デザイン研究所」 公开展



「桑沢デザイン研究所」 ドレス作品発表会

デザインという人間能力が、一般市民の生活にとっては、美と能率化をもたらし、産業界にとっては、利と合理化をもたらすものであることが、ようやく最近になつて、広く社会に認識されるようになってきましたが、よく考えてみますと、地上の生活に、色と形というものがあるかぎり、デザインの必要は、無限といえるでしょう。

したがって、デザインの基礎感覚と基礎技術を身につけておくことは、これから社会に出て、みずから働こうとする人々には、デザイナー、アート・ディレクター、レイアウト・マン、アート・エディターなど、従来未開拓の いろんな職場を約束する、アラジンのランプとなってくれるに相違ありません。また家庭にはいって、服飾生活をはじめ、家具や器具の撰択と管理から、室内装飾にいたるまで、いわば家庭のアート・ディレクターとして、新しく合理的な主婦生活をおくろうとする人々にも、多くの幸福をもたらすことでしょう。

この研究所は、こういうデザイン時代の要求にこたえて、デザインの基礎的なトレーニングをあたえる、日本でほとんど唯一の教育機関です。カリキュラムは、バウハウスの造形教育に範を仰ぎ、さらに、わが国で発達した構成教育のシステムをとりいれていますから、きわめて創造的で基礎的な学習方法を重んじ、個性に立脚した才能教育を実施していますが、また、わが国の実情と、社会の要求をも考慮して、応用技術の学習と、実用知識の体験にも、力をそいでいます。

教授陣には、わが国最高のスタッフをむかえ、きわめて自由、かつ、多彩な授業をおこなっていますから、単に、デザイン教育の場というだけにとどまらず、日本のデザイン運動の一センターとして、活力にみちたアトモスフェアにつつまれ、若い才能の目ざめを、鼓舞するところが少くないといえるでしょう。

授業内容・講師

- 造形原論 勝見 勝氏
高橋 正人氏
阿部 公正氏
デザイン運動史・社会史・経済史などをおして 近代造形の本質と その構成原理を明らかにし あわせて 現代社会におけるデザインの諸分野 デザイナーの機能など デザインの一般教養を身につけさせる 近代造形の美学思潮・構成の原理・近代デザイン運動史
- 構 成 Construction 高橋 正人氏
石元 泰博氏
真鍋 一男氏
高山正喜久氏
矢野目 鋼氏
絵画・彫刻・建築・工芸 その他 各種のデザインを「問わず」それらに共通する造形的基礎を 体系的に実習させ 創造的な感覚を身につけさせる
・各種材料の体験による造形的可能性の探究とデザイン発想の豊富化 ・色彩 形態 質 光などの視覚言語とその造形的文法に対する個性的感覚の洗練
・造形の物理的 生理的 心理的效果に基づく機能と構造の探究によつて 将来 無理なく近代生産の方式と結びつく能力の養成
- 色 彩 Color 橋本 徹郎氏
白石 勝彦氏
色彩を 単なる物理的概念として理解させずに 感覚的な色彩調和として 会得させることを目的とし その目的にしたがつて オストワルドのカラー・システムによる基礎理論を 感覚的に展開実習しながら 色彩原理と調和の法則を把握させてゆく
- 生活空間 Living Space 浜口 隆一氏
清家 清氏
豊口 克平氏
山口勇次郎氏
人間生活の空間構成 つまりリビング・スペースについてその原理と実際を学び その分野での新しい創造の能力を養成する リビング・スペースは 建築デザイン・室内（インテリア）デザイン・家具デザイン・什器その他の工業デザインなどの諸部門からなりそれらの相互の関連を 深く意識させながら その個々の部門について その原理と実際とを学んでゆく

- 被服材料学 高松 今男氏
小川 安朗氏
東 昇氏
- 服 装 史 丹野 郁氏
- 社 会 清水幾太郎氏
林 進氏
- 英 語 神之村あやめ氏

クラス・修業年限・授業日・授業料

| ク ラ ス | 年 限 | 授 業 日 | 時 間 | 授 業 料 (1ヶ月) | 入 学 金 | 選 考 料 |
|------------|-----|------------|-------------|----------------|--------|-------|
| A クラス 昼 | 1年 | 火 木 金 土 | 午前9時 ～4時 | 2,000円 | 4,000円 | 500円 |
| B クラス 夜 | 1年 | 火 木 金 土 | 午後6時 ～9時 | 1,300円 | 3,000円 | 500円 |

入学資格

旧制中等学校または新制高校卒業者 男女を問いません
洋裁経験1年以上の方



佐藤忠良氏



ガラス工場見学 淡島雅吉氏

一年間の成果
近 藤 幸 子
ドレスを、造形デザイン
の大きな流れの中において
考えるという素晴らしい、し
かも当然の事柄に、私は、
始め驚異の眼を見張つたの
である。

現代の社会に生れいき、
生活をし、その中の我々の
衣と、住、徹底的に研究さ
れる機能性、心持の良い合
理、そういうものを、もう
一度はつきりと見直したの
である。
ここでは機能、材料、分

量、色彩、デッサン、等に
対する、今迄の既成概念を
突破によつて打ちこわし、
実際の体験で、新しく得た
もののみが大切なのである
そこで研究生は、ありつ
たけの自分定、さらけ出さ
ざるを得ない。全然、自分

の持つていなかった、他人
のものに「ハツ」とするこ
とがしばしばある。
傑作を賞讃したり、自分
に悲願したり、嬉しがつた
り、おたがいに、本当に親
しみ、学ぶわけである。
それが決してせまいワッ

にとらわれずに、広い視野
において、自由に行われ、
また自由に論議されるのは
大変嬉しいことである。
今まで見すごしていた、
数多くのヒントが、少しづ
つであるが見え出したこと
は素晴らしい収穫である。

面的なことのみを追求して
いたのを、もつと根本的に
替えるように努力し、もつ
とデザイン感覚を磨いてい
きたいと痛感しています。

一年をふりかえつて
土 岐 進 子

入学当初、級の人から、
デザイナーと志望ですか、と
聞かれましたが、その頃は
今も、デザイナーになる意
志のないことに、変りはあ
りませんが、この一年間、
勉強をしたことは、とても
良かったと思います。
授業の始めの頃は、戸惑
いもし、それなりの努力も
しましたが、未知の世界で
あるだけ、新鮮さも感じて
いました。
今まで軍に、いいと思つ
ていたものが、何故いいの
だろう、どこが、どういい
のだろうと、つづつ自分で考
えるようにもなり、自分の
ヒキダシの数も、豊富にな
つてきました。
デザイナーの職業教育を
求めてきたのではなかった
私にとつても、デザイン以
前の、人間教育ともいえるべ
きものを受けたこと、また、
色々な友達と学べたことな
ど、本当に楽しい一年間だ
つたと思います。

これまでドレス・デザインの教育において デザインの基礎訓練を本格的に実習するところがほとんどありません このクラスは はじめにデザインの根本原理および正しい基礎感覚訓練のコースを経てドレス・デザインに必要な感覚の訓練と実習を徹底的に行います

授業内容 ・ 講師

- デザイン感覚の基礎実習〔構成〕 高橋 正人氏
- 色 彩 橋本 徹郎氏
オストワルドのカラー・システムによる理論とその展開実習
ドレス・デザインの配色法
- ドレス・デザインを中心とする総合感覚実習
およびドレスの構造・用途・性格の理論 桑沢 洋子氏
根田みさ子氏
- テツサンおよびモード・ドローイング 佐藤 忠良氏
朝倉 摂氏
- 造形原論 勝見 勝氏
高橋 正人氏
阿部 公正氏
- 繊維の性能と組織の理論および実習 柳 悦孝氏

- 描画法 製図法 Drawing Drafting . . 佐藤 忠良氏
金子 至氏
造形の観察をとおして形態構造・材質・色彩・機能・量感などを総合的に把握しあわせて 製図および描写実習による表現を訓練する
- 社会概論 清水幾太郎氏
林 進氏
デザイナーと社会との関連を 客観的に把握し デザインの 社会における位置を常に正しい認識と理解のうえに立つて把握させる
- 英 語 神之村あやめ氏

上記の科目に関連して 各種試験所・工場・建築物・展覧会・工房 . . .等の見学および映画・スライド等の鑑賞特別講演会などを行います

クラス ・ 修業年限 ・ 授業日 ・ 授業

| クラス | 年限 | 授業日 | 授業時間 | 授業料 (1ヶ月) | 入学金 | 選考料 |
|-----------|----|------|---------------|--------------|--------|------|
| Aクラス 昼 | 1年 | 月木金土 | 午前9時 ~午後4時 | 2,500円 | 4,000円 | 500円 |
| Bクラス 夜 | 1年 | 月木金土 | 午後6時 ~9時 | 1,500円 | 3,000円 | 500円 |

入学資格

旧制中等学校または新制高校卒業者 男女を問いません

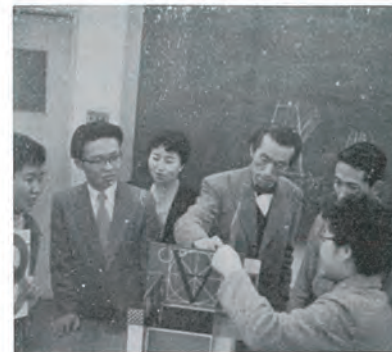
かわつてきた物の見方
横山 徳 順
リビンク・デザイン科に学んでようやく一年、狭い教室で志を同じくするものが、いかに家庭的な楽しさで、自由に学び、研究生一人一人が、それぞれの個性を生かし、自分が直接に体験することによって、デザインの理論や、実際に学んでいるのです。
この一年、我々の身の廻りにあるいろいろなもの、道を歩き、地下鉄に乗り、デパートを歩き、家の中を眺め、その時々日にふれる生活器具や、広告等に対する眼の向け方が変わってきたのが、自分自身はつきり感じるようになり、デザインについて、今まで



造形原論の講義 勝見 勝氏



生活空間のワークショップ 浜口隆一氏



造形原論の講義 剣持 勇氏



構成(レリーフ)のワークショップ 高橋正人氏



ドレスのシルエットの研究 桑沢洋子氏



モード・ドローイング 朝倉 摂氏



デツサンの批評

リビングデザイン

研究科

リビングデザイン研究科は リビングデザイン本科および ドレス科デザイン・クラス修了者で 選考のうえ進級する研究コースです このコースではリビングデザイン本科におけるデザインの基礎実習と理論を一步進めて 展開研究します したがって上記修了者以外の入学は認めません

主な講師

- | | | |
|--------|--------|--------|
| ✓相沢 正氏 | 剣持 勇氏 | 新庄 晃氏 |
| 淡島 雅吉氏 | 河野 鷹思氏 | 高橋 錦吉氏 |
| ✓東 昇氏 | 真鍋 一男氏 | 高山正喜久氏 |
| 原 弘氏 | 松村 勝男氏 | 寺島祥五郎氏 |
| 橋本 徹郎氏 | 皆川 正氏 | 手塚 敬三氏 |
| 石元 泰博氏 | 宮 桐四郎氏 | 知久 篤氏 |
| 伊藤 憲治氏 | 宮崎 正治氏 | 塚田 敢氏 |
| 亀倉 雄策氏 | 村越 康氏 | 山城 隆一氏 |
| 金子 至氏 | 佐藤敬之輔氏 | 山岸 寿治氏 |
| 勝見 勝氏 | 清家 清氏 | [ABC順] |

左写真上より
 平面構成のワークショップ 石元泰博氏
 製図法のワークショップ 金子 至氏
 構成のワークショップ 真鍋一男氏
 ポスターのワークショップ 亀倉雄策氏



レイアウトのワークショップ 原 弘氏



カツテイングの理論と実習 堀経亮氏



ドレスデザインの構成 桑沢洋子氏

- 被服材料学 高松 今男氏
東 昇氏
小川 安朗氏
- 繊維組織の理解 柳 悦孝氏
- 服装史 丹野 郁氏
- 社会概論 清水幾太郎氏
林 進氏
- 英語 神之村あやめ氏

修業年限・授業日・授業料

| 年限 | 授業日 | 授業時間 | 授業料 (1ヶ月) | 入学金 | 選考料 |
|----|------|-----------|--------------|--------|------|
| 1年 | 月水木金 | 午前9時～午後4時 | 1,800円 | 3,000円 | 500円 |

入学資格

高校卒業程度 洋裁経験1年以上の方 男女を問いません

技術クラスに 学んで

瀬川 寧子
 凍った空、細かく入り混
 った枯枝を背に、バツと閃
 るい光を放つ、素晴らしい色
 彩、躍動するシルエツト。
 私の胸の中には、ウオー
 グの、それに負けない美し
 いデザインが、渦巻いてい
 るのに、いくら描いても、
 まともな洋服の型となつ
 ては表現されない。強いて
 着られるものにしてしま
 うと、私の思いとは程遠く、
 つまらない、味気ないもの
 になつてしまうのです。
 配色、構成、機能など、
 あらゆる点を考慮して、デ
 ザインしたつもりでも、製
 作にまつたく経験のない私
 から生まれるそれは、臆断
 できない洋服であり、紙の
 上に描かれた、着られない
 洋服の、アウトラインに過
 ぎなかつた。
 いきなりデザインから学
 んだ私は、どうしても技術
 を知らなければという、大
 きな壁にぶつかつて、その
 解決の唯一の道だと、技術
 クラスの門を叩いた。
 はじめて接するその道の
 厳しさに、今までの片手落
 ちの学び方の成果が、ガラ
 ガラとこわされてしまうの
 を、どうすることもできな

技術クラス

高度なドレスの技術を 完全に把握するクラスです このクラスは 基礎クラス修了者および洋裁学校修了者あるいは短大服飾科卒業者が 職能人としての技術を獲得するのに最適です 基礎クラス修了者は 学習順序として 技術クラスに進むことが望ましいのです

授業内容・講師

- ドレスのデザインと技術 桑沢かね子氏
 - 人体の構造・機能と衣服の構成
 - 衣服の用途および個性・体型によるデザイン
 - ドレス・デザインの構成
 - 色彩・形態・材質の総合構成
- 婦人服のカッティングの理論と実習
 - 原型の原理・体型による補正
 - 高度な製図全般
- ドレーピング
- 高度な縫製の理論と実習
- 製作
 - 高度な部分縫 生活着各種 テイラード・スウツ
 - コート カクテル・ドレス
- デザイン感覚の基礎実習〔構成〕 高橋 正人氏

高橋 正人氏
それから半年余り、さまざまに裁断を学び、高度な技術をまのあたりにして、拙いながらも、懸命に一つ一つ仕上げ上げるうちに、あの時、むさむさが壊されてしまったお城が、一段ずつ築き直されてくる気がした。ここで行われる裁断は、デザインのととき検討した、さまざまな要素を、逆に分析し、精密に計算してなされ、私が学んだ運動量や、ゆるみの具合を、はつきりと裏づけしていると同時に新しいデザインのヒントまでも与えてくれた。細やかな志の扱い、高度な技術による一本のダーツの処理は、そのまま美しいシルエツトを生み出し、そのちよつとした技巧によつて生み出される、さまざまに、ヴァリエーションは、私の描ききれなかつたものだった。色彩の世界にしても、微妙な布の動きが、光の陰影と相まつて生み出す、美しい調和は、今まで動かぬ人台や、紙の上では、想像もつかなかつた世界だつた。次第に開けてきそうな、広い世界を推し測つて、体中に、熱い血の湧きあがつてくるのをおぼえる。

研究科に学んで
中野 八重美
今日のように、社会が機械化され、工業化されて、私達の生活が、より合理的な方向へと、刻一刻時間の推移とともに変転し、周囲の状況が、私達の好むと、好まざるにかかわらず、過ぎる。恐しきも耳日を通るような時代には、デザイナー・デザインを志す人々にも、切実な流練された構成をするためには、出来るだけ、知的なアプローチを広く持つことが必要です。基礎的段階においては、プロダクト・デザイン及び、ヴァジュアル・

デザイナーの両コースを採ることが望ましいように思われます。
夜学が私達は大部分が、勤労する人々であるため、多少の困難と対面しながらも、ますます意欲をかかめる結果となつていますが、そのような時間的な制約もあつて、ヴァジュアル・デザインのコースのみ選択した立場から、研究科を説明したいと思ひます。
初めの一年間に習得した

合理的に、バランスのとれたものにする。これらに、如何にして實際面に結合させ、視覚的伝達の機能を満足させることができるか、という実験過程だつたと思つてます。
人間性を無視した、誤つた合理主義に流れてしまつたり、視覚的な面白さにとり、視覚を集中させたため、機能がおろそかになつたりしてしまつた。お互に批判し合つて参りました。と同時に、適切な助言を与えて下さる先生方のサポートが出来ること、その

先生方の指導のもとに、ともするとおちいりがちなマンネリズムから開放し、友人同志異なる個性と知識とを交流し合ふことは、本当に幸なことです。
こうした実験は、これからは、卒業後もずっと引き続き行われることで、誤つた商業主義に迎合することなく、近代的な考え方の基盤のうえに立つて、現在の社会状況をよく見極めよう。デザインを総合して、改めて、ヴァジュアル・デザインの難かさを認識しました。



色彩のワークショップ 橋本徹郎氏



生活空間のワークショップ 豊口克平氏



家具のワークショップ 松村勝男氏



上 ポスターのワークショップ 山城隆一氏
右 レタリングのワークショップ 高橋錦吉氏



基礎クラス

桑沢デザイン研究所のドレス科を完全にマスターしたい人のための基礎コースで一般洋裁学校の本科にあたります このクラスを経て技術クラスからデザイン・クラスへ進級します このクラスの特長は一般洋裁学校の本科と異り単に洋裁技術の初歩の学習ばかりでなくひろくデザイン全般の原理のうえにたつて学習をすすめる点にあります

授業内容・講師

- ドレスのデザインと技術の基礎 桑沢 洋子氏
- ドレス・デザインの基礎理論 根田みさ子氏
- ドレスの性格と その着こなし 大空 淑子氏
- 個性・体型によるデザイン理論 徳永八重子氏
- ドレスの配色法 友田 小織氏
- 生地を理解とそのデザイン 小山 恭子氏
- 衣服設計 酒井シズ子氏
- 原型の原理および体型による補正 豊田 高代氏
- 婦人服のカッティングの理論と実習
- ミシンおよび洋裁器具の取扱い方
- 縫製技術全般
- 婦人・子供の下着の実習
- 子供服いつさいの製図および実習



ドレスのデザイン基礎 桑沢洋子氏



カッティングの理論と実習 大空淑子氏

- デザイン感覚の基礎実習〔構成〕..... 白石 勝彦氏
田中 淳氏
- デザインと生活 浜口 隆一氏
- モード・ドロウイング 朝倉 摂氏
- ドレスと帽子デザインの基礎理論 .. 一の瀬あき夫氏
- 社会概論 清水幾太郎氏
林 進氏
- 英語 神之村あやめ氏

入学資格

高等学校卒業程度 経験・男女を問いません

クラス・修業年限・授業日・授業料

| クラス | 年限 | 授業日 | 授業時間 | 授業料 (1ヶ月) | 入学金 | 選考料 |
|----------|----|-----|--------------|--------------|--------|------|
| Aクラス(午前) | 1年 | 毎日 | 午前9時 ~12時 | 1,000円 | 3,000円 | 500円 |
| Bクラス(午後) | 1年 | 毎日 | 午後1時 ~4時 | 1,000円 | 3,000円 | 500円 |
| Cクラス(夜) | 1年 | 月水金 | 午後6時 ~9時 | 600円 | 2,000円 | 500円 |



ドレス科の作品「桑沢デザイン研究所」展示会に於て

基礎から学んで
富所洋子
裏付の洋服など縫ったこともない私が、基礎クラス一年間に、何とかそれらしいものができるようになり下手は下手なりに、自分の手で作り出す喜びを感じる

とともに、それ自身を立てることの難かしさを、痛感しています。
この研究所が、世の洋服学校とは、一線を画すものがある、ということに對して、私達は「少くとも私は一歩を感じています」

洋裁という仕事自体、美的感覚と、手工芸的技術の養成と、修練であつて、一般の洋服学校の大衆生産的教育では、花嫁修業の手習の域を出ないことになりかねない、そこに教授法の難かしさもあるのかも知れま

せんが、この研究所の先生方の、意図なきところも、このへんにあるのではなからうかと見ました。
私たち基礎クラスにおいては、洋裁経験特無というような人も多く、一体何のために来てるのかと、思わ

れる人も少数ですが、私を含めて、大いに反省しなければならぬと思ひます
学校は小さくとも、豊富な内容に得がたい特質を求めて来る人も、多いと思ひますが、その美点をよりのばして行きたいと思ひます。